

平成21年度 近代美術館 組織目標の評価

総合評価

本年度は開館25周年を記念して、これまでに収集した館蔵品を県民の方々にご覧いただくことを趣旨としたコレクション展を中心に開催したところですが、著名はなく、全体として地味な展覧会であったこともあり、当初の目標を大幅に下回る結果となりました。情報普及事業については、講演会やワークショップ等の実施もを中心に多くの参加者を得て、概ね目標を達成することができました。

今後、なお一層、県民をはじめとする幅広い方々の学びの場、出会いの場、美的感性を育む場としての美術館を目指して、多くの方々楽しんでいただけるように美術館教育も重視した美術館運営を行います。

個別目標

番号	項目名	目標の内容	(目標値)	評価	(達成度)
1 (部目標)	近代美術館 個性的で魅力ある展覧会の実施	どんな状態に リピーターを含め多くの美術ファン の支持を得ています。 どのように 所蔵品等を活用した展覧会の実施 大学生やボランティアとの協働に よる展覧会の実施	展覧会延観覧者数 89,000人	「アメリカン・ハイ」では若い世代を中心に、「再興院展」では日本画ファンを中心に概ね目標を達成できた。しかしながら、全体としては、関係団体・機関との連携や幅広い広報にも努めたが、著名な大家等の展覧会ではなく、地味な展覧会であったことから、多くの人々の関心を高めるまでにはいたらなかった。また、新型インフルエンザ対応のための休館の影響もあり、当初の目標を大幅に下回った。 観覧者数:56,016人	
2	近代美術館 学校教育との連携	どんな状態に ワークショップ・鑑賞教育等の活動が活発に行われています。 どのように 学校教員・学生・ボランティアとの協働による事業実施。	教育普及事業参加者 3,500人	展覧会に関連した講演会や子ども向けのワークショップ等を積極的に実施した結果、概ね目標を達成することができた。 参加者数:3,448人	

るな大家等の展覧会で
に力を入れた結果、子ど

展覧会を開催するととも

今後の対応

多様なニーズに対応す
るため、多彩なジャンル
の展覧会を開催するとと
も、関係団体への広報
や連携を図る。また、関
連イベントを充実させる
など、幅広い方々に親
しまれる運営を行う。

展覧会とともに、講演
会やワークショップ等の
美術館教育にも積極
的に取り組み、より一層
美術ファンの拡大に努め
る。